



くすのき

令和7年度 広沢小学校
学校だより 第4号
令和7年6月16日



「思いやり週間」

校長 浮田 佳昭

6月9日から13日まで、広沢小学校は「思いやり週間」でした。9日の会礼では、思いやり週間にあたり、どうして思いやり週間があるのか子供たちに思いを伝え、お願いをしました。子供たちには、毎年この時期に、思いやり週間があることについて、新しい学年になって2か月が過ぎて、学級の先生や友達にも慣れてきて、運動会も終わって、ますます、今のクラスがいいクラスになってほしいという願いが込められていることをまず伝えました。さらに、浜松市では、6月12日が「命の日」となっていて、今から13年前の6月12日、市内の中学校で、一人の生徒が、自ら命を絶つということがあったことを伝えました。そこで、自分で命を失くすということはあってはならないことで、一つしかない命を大切にしてくださいと話しました。この話をするときには、子供たちに分かりやすいように、テレビゲームを引き合いに出して伝えます。「ゲームの主人公が、死んでしまっても、リセットすればやり直すことができるけど、私たちは、死んでしまっても生き返ることはできないのです」という感じです。今回、命の大切さについて次のように話しました。

「毎日学校に来れば、楽しいことばかりあるわけではありません。嫌なことやつらいことがたくさんあります。嫌なことやつらいこと、楽しいことは、生きているから体験できることです。では、嫌なことやつらいことがあったらどうすればいいのでしょうか。そんなときにみなさんの周りには、先生やたくさんの友達がいます。嫌なことやつらいことをお話ししてみてください。きっと、あなたのことを分かってくれるはずですよ。思いやりとは、相手のことを分かってくれ、あげること、ひとつだと思えます。ひとりひとり同じ人はいませんから、嫌なことやつらいことも違います。楽しいことだって違うかもしれません。でも、それを分かってくれ、あげられる、とても素晴らしいことですね。そして、思いやる気持ちだと思います。」

最後に、思いやる気持ちをもってほしいので、人にかける言葉や人との話し方についてをお願いします。1年生と2年生のみなさんは、先生や友達にどんな話し方でどんなことを話したらいいか考えてみてください。3年生と4年生のみなさんは、こうやって言ったら、相手はどう思うかな、と考えてみてください。5年生と6年生は、少しずつ毎日の生活の中で、友達のことが分かってくると思うので、相手のことを考えた言葉かけをしてあげてください。」

今、子供たちは、多様な価値観の中で生活しています。互いにすべてを理解することは無理なことであっても、違うということが分かってくれ、相手に共感したり、考えや思いを共有したりしてあげられる、それが、相手を思いやる、思いやりの気持ちだと思います。広沢小学校の子供たちが、毎日笑顔で過ごすことができるように、教職員一同、保護者や地域の皆様と同じ方向を向いて歩みを進めていきたいと思っています。

【7月の教育活動】

【7月の主な予定】

1日（火）お話の会（ロトの会）
 2日（水）2年生町探検
 3日（木）2年生町探検（予備日）
 スクールカウンセラー活動日
 7日（月）委員会活動（6年生）
 8日（火）4年生下水道教室
 お話の会（ロトの会）
 9日（水）PTA 役員会
 10日（木）4年生野外活動（三ヶ日青年の家）
 図書館ボランティア
 スクールカウンセラー活動日
 スクールガードリーダー活動日
 11日（金）教育相談日
 15日（火）4時間授業 13：15下校
 ※5、6年生30分間回泳参加者15：30頃下校
 16日（水）30分間回泳予備日①
 17日（木）4時間授業 13：15下校
 1学期給食終了
 スクールカウンセラー活動日

18日（金）特4日課 11：50下校
 大掃除（清掃ボランティア）
 30分間回泳予備日②
 21日（月）海の日
 22日（火）1学期終業式
 特4日課 11：50下校

【8月の主な予定】

8月12日（火）～15日（金）学校閉庁日
 29日（金）2学期始業式
 特4日課 11：50下校



<思いやり週間>

浜松市では、6月12日（木）をかけがえのない自他の命を大切にする「命の日」としています。広沢小学校においては、6月9日（月）～13日（金）を「思いやり週間」として、命について考えたり、自分も相手も優しい気持ちになるような取り組みを行ったりしました。

9日（月）には、会礼を行い、校長から「命の大切さ」や「自分と相手は違っている。多様性を認めていく」ことなどについての話があり、全校児童が、命について考えました。

10日（火）には、元中学校教諭の腰塚 勇人氏を講師として招き、5・6年生が、「命の授業」を受けました。「目は人のよいところを見るために使おう」「口は人を励ます言葉や感謝の言葉を使うために使おう」など、5つの誓いについて知り、教師も児童も「命の喜ぶ行動」について考えました。

11日（水）は、浜松市助産師会の方を講師に招き、4年生が、【5・6年生 命の授業の様子】



学校全体としては、思いやり委員会を中心に「かがやきレター」の取り組みを活発に行いました。広沢小学校では、「かがやきレター」の取り組みを、一年間を通して行っています。相手の頑張りやよさに気付き、心温まるレターとして、プレゼントする様子が、学校中で見られました。